

展示期間：2026年10月17日（土）～11月3日（火・祝） ※一部作品を除く ※工房および作家情報の詳細や、本リリースに掲載のない作品についてはGNEのHPよりご覧いただけます。 <https://kyotostation-gne.jp/>

ART & CRAFT BOX

駅前広場

京都劇場エントランス

東広場

室町小路広場

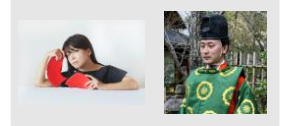
ART & CRAFT BOX
A17



仙人の筥（やまびとのほこ）

SHOWKO × 山科言親 | ART & CRAFT BOX

仙人が住むところに咲くと言われている菊の花。その霊力を身につけるための、「重陽の節句」の儀式をモチーフに、何度も塗り重ねては焼く技法で陶筥を制作しました。天然染めの菊の綿、生きとし生けるものの力を用いた伝統文化をこの時代に新しく表現しています。



ART & CRAFT BOX
A18



拳を突き上げた先のカオスな未来でも進み続ける招き猫様阿吽像図

若佐 慎一 | ART & CRAFT BOX

当作品は、先の見えない時代の混沌を受け、それでも前へ進む意思を描いた作品です。二体の招き猫は、始まりと終わり、世界のすべてを表す「阿吽」の像。突き上げた拳には、幸運を待つのではなく、自ら未来を招き寄せる覚悟を込めました。歴史と現代、伝統とポップが交わるGNEの「Mash up KYOTO」と呼応し、京都駅を、文化の記憶と新たな表現が会う入口として捉えています。



ART & CRAFT BOX
A19



金色猫様立像

若佐 慎一 | ART & CRAFT BOX

古くから人々の願いを託されてきた招き猫に、光やトキメキ、キラメキを重ねた代表作「招き猫様」シリーズ。その原点には、幼少期に魅了されたアニメ『ビックリマン』と、宗教、時代、年齢、性別、あらゆる垣根を越えて愛されてきたある種の普遍的な美があります。その感覚を立体へと展開し、可愛らしさと、この世ならざる存在の気配を併せ持つ像として制作しました。



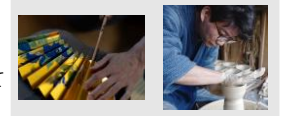
ART & CRAFT BOX
A20



かざ 香瓶（かざ こうびん）

大西常商店 × 浅井 慶一郎 | ART & CRAFT BOX

京扇子を扇ぐとふわりと漂う、ほのかな香り。「かざ」は、扇骨の技術を活かしたルームフレグランスです。扇子用に薄く加工された竹は「保香性」に優れ、長く香りを保ち続けるという性質があります。今回は、陶芸家・浅井慶一郎氏とのコラボレーション。この展示のために制作された一点ものの器たち。捻りを加え、轆轤（ろくろ）成形した器に、3色の釉薬がそれぞれグラデーションになるように焼き上げました。美しくカットされた竹の文様と釉薬のグラデーションをみていただきたいです。



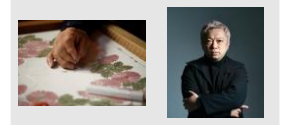
ART & CRAFT BOX
A21



仲良し

長艸繡巧房 長艸敏明 × 若佐 慎一 | ART & CRAFT BOX

寒山と拾得は禅僧で、その姿は禅の型破りな精神を象徴するものとして、日本絵画で古くから親しまれてきた画題です。長艸敏明は、祇園祭の古い懸装品から学んだ高度な伝統刺繍の技法を用い、独自の「寒山拾得」を生み出しました。伝統を受け継ぎながらも、これまでの刺繍作品にはないユーモアと創造性を感じさせる作品です。



ART & CRAFT BOX

駅前広場

京都劇場エントランス

東広場

室町小路広場

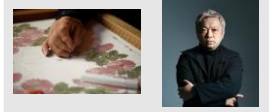
ART & CRAFT BOX
A22



冥土の旅（軸）

長艸繡巧房 長艸敏明 × 若佐 慎一 | ART & CRAFT BOX

「冥土の旅」とは、あの世への旅を意味し、禅僧・一休の逸話をもとにしています。元日の朝、人々が新年を祝う中、一休は杖の先に髑髏を掲げ、自ら詠んだ歌を口ずさみながら歩いたといわれています。その歌は、新年を祝うと同時に死を想うもので、時の流れとともに人生も一呼吸ごとに短くなっていくこと、そして限りある「今」をどう生きるかを静かに問いかけています。



ART & CRAFT BOX
A23



厄を喰らう — PAC-MAN 薬玉

京都 おはりばこ × PAC-MAN | ART & CRAFT BOX

薬玉は、五色の糸を垂らして邪気を払う、平安の昔から伝わる吊り飾りです。本作はその形式に『PAC-MAN』を重ねました。直径およそ五十センチの球を覆うのは、京都で染めた正絹の花。門下生四十名と職人の手が、一輪ずつ摘んで約六百輪を寄せています。垂れ下がる紐には、その五色にならって染めたクッキーを連ね、ゴーストたちとパワークッキーを添えました。邪気を払う色彩と、迷路を駆ける五体のゴーストがひとつの姿に重なります。つまみ細工は江戸期から続く絹の手仕事です。ひとつの飾りのなかで、京の技と一九八〇年生まれの子の迷路が会いました。

ART & CRAFT BOX
A24



手袋 / 小鉢

榎本 佳子 | ART & CRAFT BOX

「用途のない、飾られるためだけに作られた器」をテーマに、「美術と工芸」「器と装飾」といった枠組みを揺さぶるダイナミックな造形に挑み続ける榎本佳子。本作では、手袋の編み文様と器の縁取りの文様をリンクさせています。落とし物の手袋の中には、小さな野ネズミがひっそりと隠れています。



ART & CRAFT BOX
A25



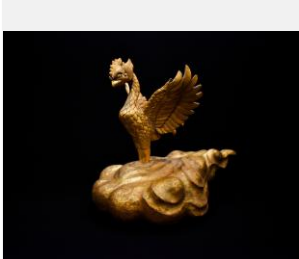
HELP

ミヤケ マイ | ART & CRAFT BOX

日本の伝統的な美術や工芸の奥深さに独自の視点を加え、過去・現在・未来をシームレスにつなぐ作品を展開するミヤケマイ。本作は、豊かな海と日本の魚食文化を未来へつなぐ活動を行うシェフたちのネットワーク「Chefs for the Blue」への寄付を募るため、信楽で制作した貯金箱型の募金箱です。



ART & CRAFT BOX
A26



土紋 来迎鳳凰像（どもん らいごうほうおうぞう）

奥西 希生定海 | ART & CRAFT BOX

鎌倉～室町時代に鎌倉地方でのみ使用された幻の技術「土紋」（どもん）。鎌倉仏師達が発案したこの「土紋」とは漆と土を型に込め成型し、仏像の表面に張る装飾技術。室町時代以降伝承の失われたこの技術を750年ぶりに復興させた大佛師奥西希生定海が、新たな試みとして、土紋の技術をさらに発展させた技法で立体作品を制作。

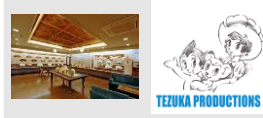


ART & CRAFT BOX
B27

光芒（こうぼう）をあおぐ

宮脇賣扇庵 × 手塚治虫作品 | ART & CRAFT BOX

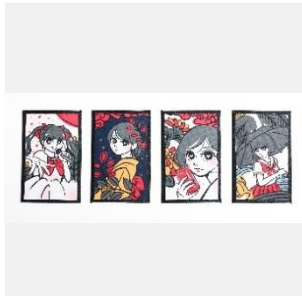
“マンガの神様”手塚治虫が未来を生きる私たちへ遺した提言を、京都の老舗・宮脇賣扇庵の扇子に込めた5つのアート作品。表面には多彩な手塚作品の印象的なコマを配し、裏面には特殊な蓄光インクで言葉を刻み込みました。ブラックライトをかざすと見えなかった文メッセージが鮮やかに浮かび上がります。伝統の風に乗せて届ける、未来を照らす光の言葉です。


ART & CRAFT BOX
B28

足元のアートピース

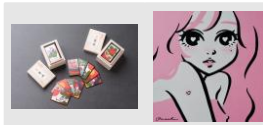
金網つじ 辻 徹 × ネーカーズ 三上 良弘 | ART & CRAFT BOX

京都の金網・西陣織をスニーカーと掛け合わせた作品です。この靴は歩くための靴ではありません。足元を自分らしく装い魅せるための靴です。車椅子を利用する方や歩くことを前提にしない装いを楽しむ方にも足元からカッコよく、華やかにファッションを楽しんでほしい。工芸、ファッション、身体性が交差するGNEならではのコラボレーションです。


ART & CRAFT BOX
B29

NEW 花かるた

田村将軍堂 × Omochi | ART & CRAFT BOX

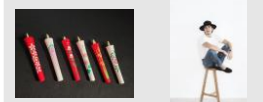
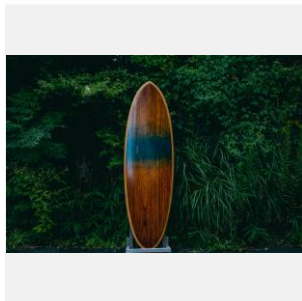
花札に描かれてきたのは、季節の植物や動物、人々の営み。当時の日本人が心動かされた情景が、札の中に残されています。本作品は、「もし現代の私たちが花札を生み出すとしたら？」という視点から、伝統的なモチーフや役を令和の風景へ描き直しました。鶴はステージで輝くアイドルに、幕はコンビニの灯りに、鳳凰はネオンに…。現代の私たちの「好き」を、NEW花かるたに落とし込みました。


ART & CRAFT BOX
B30

灯る Josie

中村ローソク × DAICHI MIURA | ART & CRAFT BOX

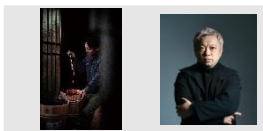
GNE2025のピックアップアーティストとして登場し イベントアイコンにもなったDAICHI MIURAのキャラクター「Josie」が今年日本の伝統的な絵蠟燭と出会います。コラボパートナーは京都で和蠟燭の文化を受け継ぐ中村ローソク。一本ずつ作られる蠟燭に、ディズニーも認める職人の手で絵を描く。そこに着物Josieが小さな工芸作品へと変わります。


ART & CRAFT BOX
B31

URUSHI × SURF 「漆板-Siita-」

堤浅吉漆店 × 若佐 慎一 | ART & CRAFT BOX

熊が樹皮を剥いだことで価値を失い、山に残されていた京都・京北の杉「ベアーズウッド」を活かした木製サーフボード。職人が一本一本削り出し、天然の塗料「漆」で仕上げることで、木を海水から守り、長く使える道具へと生まれ変わります。山に学び、里で作り、海で遊ぶ。山の課題から生まれた木が海へ向かい、漆を通して人と自然をつなぐ、新しい循環を目指す漆板「Siita」です。

※10/21より展示開始予定



ART & CRAFT BOX

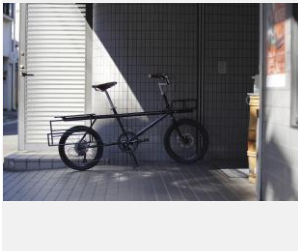
駅前広場

京都劇場エントランス

東広場

室町小路広場

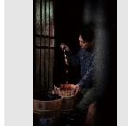
ART & CRAFT BOX
B32



URUSHI × BIKE 「鉄呂色」

堤浅吉漆店 | ART & CRAFT BOX

京都の自転車工房EBSによる、修理しながら長く乗り継げるクロモリ製ワークバイク「TURN」に漆を塗りました。鉄の表情が時間とともに透けてくる木地呂色仕上げを、私たちは「鉄呂色」と名付けました。漆は美しさだけでなく、かつて鉄の防錆にも使われた天然の塗料。京都の桜を使った木部は拭き漆で守ります。ウルシの木が生み出す天然の高分子「漆」が、町と山、人と自然をつなぐ架け橋となることを願って。



C
07



クラウン“クロスオーバー”× 刀剣男士 三日月宗近

トヨタ自動車株式会社 × 刀剣乱舞ONLINE | 駅前広場

京都で作刀され約1000年の時を経て顕現した刀剣男士・三日月宗近と、70年の歴史の中で伝統と革新を重ねるTOYOTA・クラウン。未来へと走り続ける両者が歴史息づく京の地で邂逅します。深き藍と黄金が醸す気品、月の満ち欠けが表す悠久の刻、研ぎ澄まされた日本刀の美が、クラウンの流麗なフォルムと融合。伝統を超え、新たな時代を切り拓く特別な輝きを、ぜひ京都駅でご体感ください。

C
08



ユニコと幸せのハートアート

手塚プロダクション × スリーエム ジャパン株式会社 | 駅前広場

人から愛されると、その人を幸せにする魔法が使えるユニコーンの子供『ユニコ』。作品にちなんで、ハート型のポスト・イット® ノートに願いや愛のメッセージを自由に書くことができる来場者参加型の企画です。集められた願いや愛のメッセージを参加者全員で作り上げるアート作品として展示します。



C
10



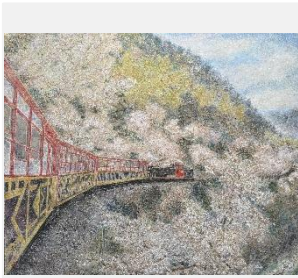
盆栽と金魚

TRADMAN'S BONSAI × 三上 真輝（特別協力：和多屋別荘） | 駅前広場

命の美しさと儚さを映す「盆栽」と「金魚」が、駅前広場に幻想的な世界を描き出す。ランタン作家・三上真輝が手掛ける金魚と、小島鉄平率いるTRADMAN'S BONSAIの盆栽が共鳴し、静と動、永続と刹那が交差する空間を生み出しました。伝統の美を現代の感性で再解釈した、二つの日本文化のマッシュアップです。



C
11



嵯峨野トロッコ『春峡列車』

戸倉 英雄 | 駅前広場

鉄道は、人や物だけでなく、文化や歴史、人々の願いを運び続けてきた存在です。先人たちが敷いた軌道は今暮らしを支え、自然と人、人と人を結ぶ「つながり」の象徴として未来へと続いています。そんな思いを乗せて生まれたのが、桂川流域の自然や歴史文化をアートで伝える「桂川月守講」と嵯峨野観光鉄道のタイアップによる特別臨時列車「月守号」。戸倉英雄が幻想的に描いたヘッドマークの原画「月守鉄道の夜」をご覧いただけます。



ART & CRAFT BOX

駅前広場

京都劇場エントランス

東広場

室町小路広場

C
12



溪流の閑寂

植司 / 皆川 拓哉 | 駅前広場

山間を流れる溪流の風景を題材に、自然の静けさと奥深さを表現した庭です。水の流れを思わせる石組みと、苔や木々の緑を織り交ぜ、まるで山の中に入り込んだような景色をつくり出しています。
「閑寂」とは、静かで落ち着いた趣を表す言葉。水のせせらぎ、木々の揺らぎ、苔の柔らかな表情——そこにある一つひとつの自然を感じながら、心を静かに整える空間を目指しました。華美な装飾を避け、年月とともに味わいを深める。訪れる人がそれぞれの感性で自然を感じられる、静謐な日本庭園です。



C
15



手塚治虫作品とユニコ50周年

手塚プロダクション | 駅前広場

講談社手塚治虫漫画全集の中から、ピックアップした100以上の本の表紙とあらすじを紹介。有名な代表作だけでなく、京都駅ビルと関係のある作品や手塚ファンのみぞ知る作品など、未知の作品と出会える場として展開。また、今年50周年を迎える『ユニコ』の原作紹介やフィギュアの展示も実施。手塚作品の世界観を楽しめるブースとして展開します。



B
03



鳥獣戯画～お宮参り図～（一部展示）

三上 真輝（特別協力：和多屋別荘） | 京都劇場エントランス

ランタン作家・三上真輝がライフワークとして制作する大作『鳥獣戯画～お宮参り図～』。国宝「鳥獣戯画」に着想を得た、全108体登場予定の壮大なプロジェクトです。佐賀・嬉野の旅館「和多屋別荘」の支援のもと約80体が制作されていますが、その全貌は未だ謎に包まれています。昨年に続く2回目の展示では新作を含む選りすぐりの作品群がお披露目されます。動物たちのコミカルで生命感あふれる表情が見る人を引き込みます。

※10/24、25、11/1は、展示を一時中断する場合があります。



B
04



盆栽

TRADMAN'S BONSAI | 京都劇場エントランス

盆栽を通して日本の格好良さを世界に発信する、小島鉄平率いるTRADMAN'S BONSAI。京都劇場エントランスホールに、その世界観を凝縮した一鉢を展示します。「伝統を守るだけでなく、革新を取り入れる」という思いのもと、ストリートカルチャーやアートと融合した現代の盆栽観を一鉢に宿せました。



A
01



HEAR, HERE, BEYOND

山本 啓 | 東広場

京都で活動する若手アーティスト等による作品展示など文化芸術が楽しめる京都市主催の周遊型アートイベント「Lightseeing Kyoto South 2026」とのコラボ。京都の玄関口である京都駅を舞台に、サウンドアーティストの山本啓が京都各地で採集した音によるサウンド・インスタレーションを展開します。街や山など、離れた場所の音が重なり合うことで窓の向こうに広がる京都の風景を新たな感覚で捉えます。さらに、誰もが自由に演奏できる常設の「駅ピアノ」を来場者が奏でることで、さまざまな京都の音と響き合い、その場、その瞬間にしか生まれない「京都の音楽」が立ち現れます。



展示期間：2026年10月17日（土）～11月3日（火・祝） ※一部作品を除く ※工房および作家情報の詳細や、本リリースに掲載のない作品についてはGNEのHPよりご覧いただけます。 <https://kyotostation-gne.jp/>

ART & CRAFT BOX 駅前広場 京都劇場エントランス 東広場 室町小路広場

E
41



滋賀デスティネーション プレキャンペーン「癒しがいっぱい、シガリズム。」
滋賀デスティネーションキャンペーン | 室町小路広場 期間：2026年10月1日～11月3日

滋賀デスティネーションキャンペーン「癒しがいっぱい、シガリズム。」のイメージ映像を京都駅ビル・大階段グラフィカルイルミネーションPlusで上映。滋賀の魅力を、大階段125段での色鮮やかな大型映像で是非お楽しみください。

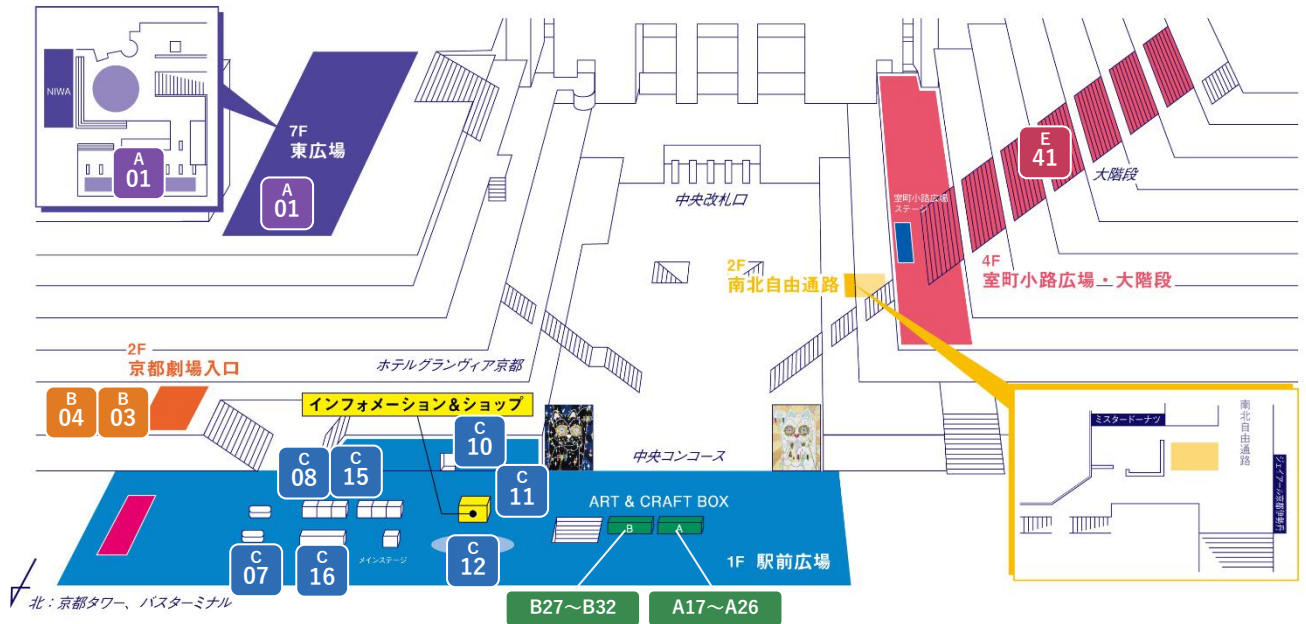
<デスティネーションキャンペーンとは>

JR北海道・JR東日本・JR東海・JR西日本・JR四国・JR九州の6社が現地の自治体や旅行会社などと協力し、地域の新たな魅力を発信し誘客する国内最大級の観光キャンペーンです。

滋賀デスティネーション プレキャンペーン期間：2026年10月1日～12月31日

滋賀デスティネーション キャンペーン期間：2027年10月1日～12月31日

◆会場MAP



◆インフォメーション&ショップでは、本芸術祭のオリジナルグッズを販売いたします。

若佐 慎一氏描き下ろしの招き猫のキービジュアルをモチーフにしたコラボレーションアイテムなど多数ご用意しております。

◆駅前広場の出展作品には「YYSystem（ワイワイシステム）」による字幕をつけ、会話や音が聞こえない・聞こえにくい方にも作品をお楽しみいただける取り組みを実施いたします。

QRコードを読み取って、作品紹介を見られます



本芸術祭では、株式会社アイシン様協力のもと、同社が開発・提供するリアルタイム音声認識アプリ「YYSystem」を導入いたします。

「YYSystem」は、会話や音声をリアルタイムで文字化し、聞こえ方や言語の違いを越えたコミュニケーションをサポートするアプリケーションです。聞こえない・聞こえにくい方にも安心して作品を味わっていただける仕組みを取り入れることで、本芸術祭の社会的意義とイベントとしての価値をいっそう高めてまいります。

◆芸術祭の期間中、京都駅エリアではYY Systemによる字幕スポットを設置します

- ・ジェイアール京都伊勢丹 インフォメーションカウンター
- ・京都駅ビル 拉麺小路内「麺屋いろは」、和食小路内各店舗
- ・京都総合観光案内所「京なび」

◆YYSystemについて

<https://www.aisin.com/jp/>

◆株式会社アイシン HP

<https://yysystem.com/>

※画像はすべてイメージです。実際の作品とは異なる場合がございます。

※作品タイトル・内容は変更となる場合がございます。※C16「工芸実演・展示ブース」の出展内容は「別紙2」をご覧ください。